



新会長就任にあたって

金沢龍馬会々長 蛭子政喜

金沢龍馬会員の皆さまに推されて会長を預かる事になりました。

金沢龍馬会の発足から今年度で15年目に入りました。

これも会員皆様のご協力と「継続は力なり」を意識して会員皆さまのお力添えがあった事と思います。



微力ではありますが会発展のために努力し、更なる会員増を推進したいと思います。

さて新しい年度を迎えて我が会は龍馬史の中から現代に役立つ考え方も学びつつ会員の皆様に喜んで頂ける情報提供や交流を継続したいと考えており、ご協力をよろしくお願い致します。

また個人的には「龍馬の魅力」として感じている事は①柔軟な発想力②ビジョンの形成力③人との繋がりを大切にしている事です。

今後も龍馬会を通じて多くの人々と出会うことを大切にして、人間関係と自己研鑽を形成して行けるよう「和の心」を大事にしながら楽しい金沢龍馬会を形成しようじゃありませんか！

《盛会だった総会と講演会 報告》

日時：6月2日（土）

☆日展鑑賞

12時30分～「日展金沢展」石川県立美術館

☆総会 15時00分～「総会」桜はなび

☆講演：「龍馬と書道」書家「中田聰山」氏

金沢龍馬会6月の金沢龍馬会例会は日展鑑賞&総会&講演会でした。青春の血？湧きたぎる32名の男女会員が参加、芸術を堪能し語り飲み楽しいひと時を過ごしました。

参加者：小屋/中川/蛭子/宇賀/中田俊/佐藤/大坪/吉田/紐野/富来/油谷/勝田/中城/寺元/山崎/朝日/周藤/北川/小幡/折戸/中田文/谷/池田/新谷/小峰/永崎/東寿/上田/高島/土倉/新木
会友：土農 計32名

（内、県立美術館での日展鑑賞17名参集）

☆日展鑑賞：12:30～ 石川県立美術館

土農力氏、中田聰山氏 解説

土農先生は日展の歴史、他の会との違いについて話され更に日本画・西洋画について、絵画の見方に

ついて解説されました。

中田先生は書の種類（字体、紙、作品サイズ）について書

の見方について解説されました。両先生の入選作品が展示されており鑑賞される人に感動を与える作品でした。



☆総会：15:00～ 桜はなび

第一号議案～第六号議案審議でいずれも原案通り議決されました。

新任会 長：蛭子政喜

新任副会長：佐藤正樹（会計兼任）、中田俊郎

新任理 事：池田義則

新任運営委員：中田文江

☆講演：中田聰山氏「龍馬と書道」

書道展の分類、鑑賞のポイントで分類（漢字、かな、調和体、篆刻）、どこをどう見るか、何が書いてあるか判らない場合（無理に読もうとするな、絵画的に鑑賞してもよい）の説明をされました。

そして龍馬の書（手紙）3点（詠草及び記録の中の印影）の解説があり、龍馬が筆まめだったこと、和歌をたしなむという意外な一面があったことを強調されました。

（古文書の読み方を勉強する人が龍馬会に出現することを希望します）



☆懇親会： 16:00～18:00

今回は金沢龍馬会始まって以来の32名という参集数となりました。

広い桜はなび3F が狭く感じられました。外では百万石祭りのパレードが行われていましたがこちらも賑やかに交流が実施されました。

《金沢龍馬会新年会》

・来年の新年会：未定

特報

第30回龍馬ファンの集い

明治維新150年記念東京大会

日時：10月6日（土）

会場：東京よみうりホール&東京国際フォーラム

【会員のつぶやき】

蛭子さんと龍馬を語る



小峰 哲

私が龍馬会に入るきっかけは、お客様に連れて行って頂いた居酒屋「お龍」で蛭子会長にお会いした事です。

それまでは坂本龍馬や幕末の志士について歴史の授業で習った程度しか知りませんでした。

初めて「お龍」でお会いした蛭子会長の人柄に触れ、龍馬のお話を伺うにだんだんと引き込まれ、これも何かのご縁ではと感じ、生まれ育ちも関係の無い金沢の地で龍馬会に入れて頂くこととなりました。

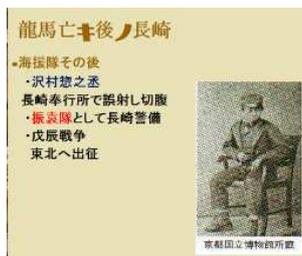
初めは何か金沢でつながりが出来れば程度にしか考えておりましたが、龍馬会の皆様とお話する中で日本を再認識させて頂き、更に人間関係が構築できる龍馬会に参加できることを大変嬉しく感じております。

人間として更に成長できるよう精進したいと思っております。皆様宜しく願い致します。

まるわかり「龍馬入門講座」⑮

29、龍馬亡きあと鳥羽伏見の戦いの敗戦が伝わってくると長崎奉行は外国船で逃亡を図ります。

土佐藩土佐々木高行や海援隊士たちは長崎在住の他藩と共に、長崎の治安を守るために長崎奉行所を占拠します。



その際に酔って刀を振り回してきた薩摩藩士を龍馬と共に脱藩した海援隊士沢村惣之丞が誤って

射殺してしまいます。沢村惣之丞は薩摩藩と土佐藩の確執を避けるために自決します。

墓は本連寺裏手の土佐藩御用商人・西川家の墓地内に関雄之助として葬られています。

長崎に残った海援隊士たちは、その後組織された「振袁隊」として長崎警備や戊辰戦争へと出征していきます。

30、龍馬は、時代を超えた英雄であります。

幕末と言う変革の時代に生き、しっかり日本の将来を見据え、常識や名誉欲にとらわれず、海外情報も収集し、高く、且つ広い視野で純粋に日本国の為に働こうとしました。

また龍馬は奇跡に近い無血革命を実現しました。これは、彼の平和思想によりものです。武士でありながらできるだけ争わず話し合いで物事を解決しようとした。また、上士も下士も、商人も百姓も平等な世界を夢見ました。龍馬こそ現在も生き続けるヒーローなのです。



龍馬はまた経済人でもありませんでした。大政奉還の後龍馬は、江戸の銀座を抑えようとしたのです。

自分も龍馬のようにありたい。」と今後も多くの人を引き付け続けるであります！

30、ご清聴ありがとうございました。《おわり》

☆新会員

113 高島恒一郎 114 土倉勇馬 115 新木 茂
116 加藤 宏

《金沢龍馬会 HP アドレス変更!!》

7月中旬頃より http から始まる web サイトはすべて安全ではないサイトと判定されることとなりますので下記のアドレスとなりました。

新アドレス <https://kanazawa-ryomakai.com>

●年会費納入のお願い

30年4月から来年3月迄の年会費：
¥3,000-

例会ご出席の折か次の口座まで送金下さい。

郵便局 口座No 00780-5-38627

口座名義 金沢龍馬会

振込手数料は龍馬会が負担。3千円のみです。

【編集後記】

皆さま、総会も無事終了しました。心の中に常に“龍馬の志し”を持ち張り切ってまいりましょう。会報も第17号が完成、漸く皆さまにお届けすることが出来ました。

***** 事務局 *****

金沢龍馬会 会長：蛭子政喜

事務局長：吉田信夫

080-5600-1113

jitianxinfu@hotmail.com

会報担当：中田俊郎 090-7806-2269

n-toshio@muji.biglobe.ne.jp

金沢龍馬会 公式ホームページ

<https://kanazawa-ryomakai.com>

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.ryomakai>

